

夏の諸活動に際して

阪神さくら地区

団指導者 各位

隊指導者 各位

夏の諸活動に際しての諸注意に関しては例年日本連盟コミッショナーよりメッセージがございますが、現在のところ発信されておられません。これから発信されるものと思いますが、7月の連休に活動を予定されている団もあることから、小職より先だっただけにご注意いただきたいこと3点を申し上げます。

① 新型コロナウイルス感染予防のための対策をとりましょう。

本件につきましては、これまでに私たちは多くのことを学び、それに処してまいりました。そういう点で新しい生活様式は浸透し、知見を深めたといえるでしょう。しかし、緊急事態宣言が数度発せられた結果、悪い意味で「慣れ」が生じていることは、少なからず見られると思います。夏の行事に際しては今一度、新型コロナウイルス感染予防への対応をご確認ください。日本連盟から出ております「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿った行動をお願い申し上げます。

https://www.scout.or.jp/member/wp/wp-content/uploads/2021/06/c19_scout_guideline_ver03_01.pdf

② 新型コロナウイルス感染予防のための対策だけに振り回されないようにしましょう。

新型コロナウイルス感染予防への対策はもちろん大切なのですが、それに固執するばかりに、その他の安全に対する配慮がおろそかになってはいけません。大変厳しい暑さが予想されるため熱中症への対策、久しぶりの野舎営になることから慣れていない刃物による怪我也も想定ください。なお、マスクの着用は熱中症のリスクを増大させます。マスクを外すことが推奨される場面もあります。これは難しいことではありますが、ボーイ以上は自分たちの安全を自分たちで守るという教育的訓練にもなります。どういった時にマスクをつけ、あるいは外すかの基準といったようなものを自分たちの手で作る（もちろん成人指導者が支

援する) というように進められれば良いと思います。年少部門ではその判断をスカウトに委ねることは難しいでしょうが、どんな時にマスクをして、あるいは外すかは隊指導者がよく観察して適宜ご指導ください。これは、防寒具を着る(脱ぐ)、雨具を着る(脱ぐ)、服シャツが濡れたから着替える、などこれまでの活動でもしてきたような指導と同じことだと思います。

厚生労働省からの、「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントの案内を下記に紹介いたしますので、一度お読みください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html

また、先日のラウンドテーブルでもお知らせしましたが、指導者による自動車の事故にも十分ご注意いただき、保険の範囲など事前にご確認ください。

③ スカウトのために夏の活動を充実させよう

たしかに、活動をする上でリスクがないわけではありませんが、それだけを気にして活動が委縮することは避けたいところです。これはなんでもかんでも強引にやっしまえ! ということではありません。リスクに関しては事前の対策を協議を十分にすること、現場においては意識を高く維持して臨機応変に対応することで向き合っていただき、同時にプログラムがスカウトの成長に寄与するものかどうかにも向き合っていただきたいと思います。そのような複雑な負担を無償の奉仕者である指導者のみなさんに求めることは、非常に重たいものと感じております。しかし、「スカウティングは素晴らしい」という誇りと自信を基礎にして、その先にあるものを信じていただければと幸いです。

困っていることがあればいつでも身近なコミッショナーまでお知らせください。阪神さくら地区のみんなが充実した夏の活動を行えるように、地区全体の機運を盛り上げていきたいと考えております。

令和3年7月20日

地区コミッショナー

山本浩介